

第44回全国共通テスト国語 (時間50分)

学研教室

級	6級	名前	学年	教室名	会員番号
		解答	4年		

2023年実施
131416

1 —の漢字に、読みがなをつけなさい。

(1) 一点の差で、試合に敗れる。
(さ)

(2) 目的地に、無事に着く。
(ぶじ)

(3) 花の種類を図かんで調べる。
(しゅるい)

(4) 勇気のある行動に感心する。
(ゆうき)

(5) 自分のかばんに目印をつける。
(めじるし)

(6) 村に伝わる不思議な話。
(ふしぎ)

3 —の言葉を、漢字と送りがなで書きなさい。

(13) 箱に、リボンをかけてむすぶ。
(結ぶ)

(14) 雪の上に、足あとがのこる。
(残る)

2 次の□に漢字を書きなさい。

(7) 遊園地で入場料をはらう。
×ニ りょう はらう
料

(8) 委員会の副委員長を選ぶ。
副

(9) 工作に必要な道具をそろえる。
要

(10) 話し合いの司会をする。
司

(11) 徳島県は、あわおどりで有名だ。
×士 とくしま
徳島

(12) 地いきの行事に参加する。
×イ さんか
参加

(15) 開校五十周年をいわう。
×三

(16) ふる場でシャワーをあびる。
(祝う)

(17) 湯に足をつけてあびる。
(浴びる)

4 次の文がへ の意味を表す慣用句を使った文になるように、合う言葉を から選んで書きなさい。

(17) ぼうしの中に入れたハンカチが鳥に変わる手品を見て、 [目] を丸くする。

〈びっくりする〉

(18) 遠足のお昼の時間に、おやつを家にわすれてきたことに気づき、 [かた] を落とす。

〈がっかりして、元気がなくなる〉

(19) おじさんの自まん話は、 [耳] にたこができるほど聞かされた。

〈同じことを何度も聞かされ、いやになる〉

(20) 友人だと思って声をかけたら、別の人がわり、 [顔] から火が出る思いをした。

〈とてもはずかしい思いをする〉

頭 顔 首 かた はら 足 目 耳 口

6 ーの言葉をへ の言葉に言いかえることができる文を一つずつ選んで、記号で答えなさい。

(25) 〈かける〉

ア 自動車 が、道路 を 走る。

イ 汽車 が、鉄橋 の上 を走る。

ウ 子どもたちが、運動場 を 走る。

ウ

(26) 〈あまる〉

ア 家族が出かけ、家 に一人だけ のこる。

イ おかし を三人で 分けると、一つ のこる。

ウ 歴史 にのこる 出来事だ。

イ

5 ーのことわざの意味に合うものを から選んで、記号で答えなさい。

(21) 「田中さん、去年は徒競走で一位だったよね。今年はどうだったの。」

「それが、スタート直後に転んだの。」

エ

「えっ、さるも木から落ちる、というわけか。」

(22) 「来週のコンサート、楽しみだね。」

「うん。でも、ぼくは花よりだんご」

ア

で、あとの食事のほう が 楽しみだな。」

(23) 「野球チーム、もうやめてしまおうかな。」

「石の上にも三年というよ。今やめて」

しまうのは、もったいないよ。」

オ

(24) 「けんちゃん、歯みがきはすんだの。」

「あっ、わすれてた。」

ウ

「毎日言ってるのに、馬の耳 に 念 いつ だね。」

ア 美しいものよりも、実さいに役立つもののほうがいい。

イ 手間がかかっても、着実に事を行うほうがいい。

ウ どんなに働きかけても、ききめがない。

エ どんな名人でも、失敗 する ことがある。

オ 何事もがまん強く行えば、必ず成功 する。

級前
名

7 次の——の漢字は、使い方がまちがっています。同じ訓読みをする正しい漢字を□に書きなさい。

(29) ナイフで、りんごの川をむく。

皮

(30) より道をしないで、家に返る。

帰

(31) 列車が、すごい早さで通りすぎる。

速

(32) バンダは、動物園の人気物だ。

者

8 次の漢字を漢字辞典の「音訓さく引」で引く場合の読み方を、音はかたかな、訓はひらがなで書きなさい。

(各1発)

例 花 音：(カ) 訓：(はな)

(33) 店

音：(テン) 訓：(みせ)

(34) 池

音：(チ) 訓：(いけ)

9 次の漢字の、部首をのぞいた部分の画数を、□に漢数字で書きなさい。

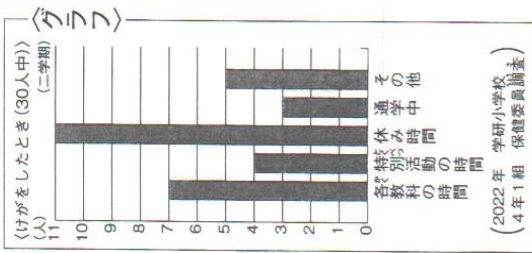
例 組 五画
「組」の部首は「糸」、
「且」の画数は五画。

(35) 雲 四画

(36) 記 三画

(37) 折 四画

10 保健委員の山口さんは、クラスの人にアンケートを取り、いつがをしたかについて答えてもらいました。《グラフ》と《文章》を読んで、あとの問題に答えなさい。



《文章》

わたしは、四年一組の人が、どんなとき

① にけがをしたのかを調べ、ぼうグラフにまとめました。わかったのは次の三つです。

- ・いちばん多いのは、休み時間で、十一人。
- ・次に多いのは、各教科の時間で、七人。
- ・いちばん少ないのは、通学中で、□人。

② 予想では、各教科の時間のけががいちばん多いだろうと思っていました。ところが、けがは予想とちがい、休み時間のけがが多いことがわかりました。

③ 休み時間は、先生が近くにいなくて、多く、ふざけて遊ぶなどして、けがをってしまう人が多いのではないかと思います。

(38) グラフから読み取れる、文章中の□に合う数字を、漢数字で書きなさい。

三

(39) かじょう書き(二つ一つの事がらを短文でまとめ、ならべて書く書き方)になっているのは、どの部分ですか。①～③の番号で答えなさい。

2

(40) 山口さんが、調べたけがから考えたことについて書いてある文を一つ見つけ、初めの四字を書きぬきなさい。

休み時間

こちらにも問題があります！

11 次の文章を読んで、下の問題に答えなさい。

初夏から夏にかけて、サンシヨウの木の枝で、アゲハチヨウの羽化がはじまっています。

この時期のさなぎは、春にたまごから生まれた幼虫が成長したものです。

チヨウの幼虫のすがたは、成虫のすがたとはまったくちがいで、そのままでは成虫になりません。さなぎになるのは、幼虫のからだを成虫のからだにつくりかえるためです。さなぎの中で成虫のからだができあがると、かわをやぶって、成虫がでてきます。

そのとき、羽のようすをよく見てください。ちぢれています。アゲハチヨウは、せまいさなぎの中で、おり紙のようにたたんだ羽をつくっていたのです。

大きな羽を、アゲハチヨウはさなぎの中で、どうやっておりたたんだのでしょうか。おりたたんだではありません。アゲハチヨウはおりたたんだままの羽をつくったのです。

平らな紙を、おったり、くしゃくしゃにしたあとで、のばしてひろげることはかんたんです。しかし、はじめからおりたたんだ紙をつくることはできません。

ところがアゲハチヨウは、それをやっつけているのです。きつとアゲハチヨウは、ふしぎなおり紙の設計図をもっているのです。

羽化した成虫は、ちかくの枝につかまり、細い羽の脈に体液を流しこみ、その圧力でじよじよに羽をのばします。のびきると、羽をひろげて、かわかします。

すっかり羽がかわくと、成虫は、ゆつくり羽をはばたかせてから、ひらひらつと空にまいあがります。

（国語）（国語）（国語）（国語）（国語）
（国語）（国語）（国語）（国語）（国語）

- * 羽化：こんちゅうが、幼虫やさなぎから、成虫になること。
- * 脈：水分などの通り道になっている、すじ。
- * 体液：動物のからだの中にある液体（水や油のようなもの）。
- * 圧力：物を押しつける力。

(41) 「アゲハチヨウの羽化」とありますが、羽化するまでにチヨウはどんなことをしますか。次の□に当てはまる言葉を、十三字で書きぬきなさい。

- さなぎになって、幼虫のからだを

成虫のからだにつくりかえる。

(42) 「かわをやぶって、成虫がでてきます」とありますが、さなぎからでてきたときの成虫の羽は、どうなっていますか。次の□に当てはまる言葉を、四字で書きぬきなさい。

- ちぢれて

(43) 「平らな紙」は何をたどえていますか。次の□に当てはまる言葉を、四字で書きぬきなさい。

- アゲハチヨウの大きな羽。

(44) 「それをやっつけてのけている」とありますが、アゲハチヨウはどんなことをやっつけてのけているのですか。次から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア さなぎの中で、大きな羽をおりたたむこと。
- イ さなぎの中で、はじめからおりたたんだ羽をつくること。
- ウ さなぎの中で、羽をおりたたむための設計図をつくること。

イ

(45) — ⑤とありますが、羽化した成虫が飛び立つまでの順になるように、()に当てはまる文をあとから選んで、記号を書き入れなさい。（定答）

- (イ) → (ウ) → (ア) → 羽をはばたかせ、空にまいあがる。

- ア 羽がのびきったら、羽をひろげて、かわかす。
- イ 細い羽の脈に体液を流しこむ。
- ウ 体液の圧力で、羽をのばしていく。

表にも問題があります！